

特集

# せん妄であわてない

せん妄を呈する患者は、急性期領域だけではなく慢性期にも少なくありません。せん妄は、患者の身心の安静を阻害するだけではなく、点滴ラインやドレーン・カテーテル、さらには気管チューブなどの計画外抜去の危険性が高まるなど、患者の回復を阻害する原因となり得ます。

私たち看護師は、せん妄を引き起こす誘因や要因を知ったうえで、せん妄に対する予防策を講じる必要があります。しかし、予防策を講じてもしん妄を呈してしまう患者は少なくありません。臨床の現場でせん妄を呈した患者に対して、実践的で適切な対応をするためにも、早期リハビリテーション、栄養管理、鎮痛・鎮静、抑制など、せん妄の予防から対応まで、全体の知識をもつ必要があります。

今回の特集は、2010年3月に広島で開催された第37回日本集中治療医学会学術集会における「集中ケア認定看護師による実践講座」でお伝えした「せん妄を呈している患者への看護に必要な知識」を、一般病棟の看護師の方々にも役立つ内容に整理しました。より多くの看護師のみなさんの参考になれば幸いです。

日本看護協会  
看護研修学校認定看護師教育課程  
集中ケア学科専任教員

杉澤 栄